

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	黄斑前膜の病期分類と視機能に対する chat GPT の有用性の調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2015 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに魚沼基幹病院眼科に通院していた黄斑前膜の患者さんが対象になります。
③ 概要	黄斑前膜は経過とともに視力低下や歪みを自覚するようになる疾患です。光干渉断層計という画像検査により重症度分類を行うことが可能ですが、現在は眼科医が画像を見て判断する必要があります。そこで、現在世の中に普及している人工知能アプリなどで画像診断ができれば、患者さん自身が自分の病態に対し理解が深まると考えました。私たちは現在普及している人工知能のチャットアプリである chat GPT を用いて黄斑前膜の病期分類や視機能の予測ができるのか検証することにしました。
④ 申請番号	E2025000401
⑤ 研究の目的・意義	世の中に普及している人工知能アプリなどで黄斑前膜の画像診断ができれば、患者さん自身が自分の病態に対し理解が深まることに繋がる。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている黄斑前膜の患者さんの病歴、視機能検査を利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定されるような情報が公開されることはありません。
⑦ 利用または提供する情報の項目	病歴(年齢、性別、発症時期、眼軸長(眼の長さ))、視力検査結果、画像検査結果
⑧ 利用の範囲	魚沼基幹病院 眼科
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 眼科 特任助教 佐藤伊将
⑪ お問い合わせ先	魚沼基幹病院 眼科 佐藤伊将 Tel : 025-777-3200 E-mail : tadanobu.sato.opht@nigata-u.ac.jp